

稚内北防波堤ドーム プロジェクションマッピング事業始動！



稚内北星学園大学 地域観光支援室

はじめに

稚内北星学園大学では文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に採択され、さまざまな活動を行っている。地域の観光支援として本学のメディア関連、観光関連、地域振興の担当教員が共同で、稚内の観光名所「北防波堤ドーム」にてプロジェクションマッピングを使ったイベントを計画している。

これまでの活動経緯と成果

稚内港には昭和11年に完成した北防波堤ドームが「北海道遺産」として残され、今なお観光客などの人気スポットである。稚内港は戦前からの稚泊航路(稚内～サハリンを結んだ交易)の要衝として機能していたが、船舶との荷役作業等の効率化などのために鉄道の駅が現在の北防波堤に位置していた。海からの強風や塩水などから荷物や乗客を守るために建築されたドームは、稚内の歴史を物語る貴重なランドマークとして親しまれている。(写真-1)

観光振興のみならず、地域の誇りとしても北防波堤ドームに光を当てていくことは重要であると考え、本学のメディア制作や観光学での実地調査等から、歴史遺産の特徴を表現したプロジェクションマッピングによるアート作品の発表によって地域貢献ができると思った。

多くの関係機関が関与する北防波堤ドームにおいて、協議を重ねながら最適な効果を導き出す必要がある。そのため、港湾を管理する北海道開発局や地域のボランティアによって運営されている「稚内みなとまちづくり懇談会」と意見交換を行うために下記の通り会議を開催した。

会議の概要

今回の会議は、今年度の運営にかかる内容を議論する目的で、下記の通り行われた。

1. 日 時 10月6日(月) 18:00～
2. 場 所 本学役員室
3. 参加者
横澤(稚内みなとまちづくり懇談会)
工藤(明)、工藤(富)、油川(稚内みなとまちづくり懇談会、稚内開発建設部)
佐々木、小谷、黒木(稚内北星学園大学)
藤崎(稚内北星学園大学、稚内みなとまちづくり懇談会)
4. 内 容
1) 大学と懇談会との協力関係の確認
2) プロジェクションマッピング事業の説明
3) 彩北わっきゃないとの共催について確認
4) 学生への開発局出前講義開催について
5) その他



写真-1 北海道遺産「北防波堤ドーム」

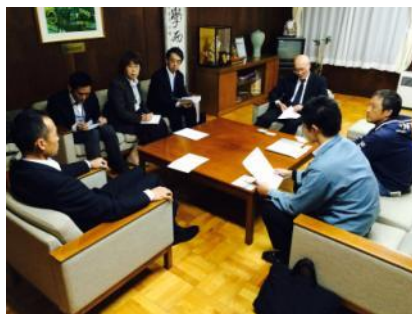


写真-2 会議開催の様子



写真-3 小谷准教授によるプロジェクションマッピングの説明